

ふじ や くるま あと  
藤 屋 車 跡

所在地 金屋町  
調査期間 平成12年11月～平成13年1月  
検出遺構 水路跡

妙閑寺裏手にありました。江戸時代の記録にも残る水車です。発見された水車跡は昭和38年まで、精米や粉ひきに使われたものです。水路部分の調査となりましたが、導水路、放水路、排水路が確認でき、導水路では作り替えの状況がとらえられました。



導水路・放水路

川沿いに道路が作られた戦後遅くまで稼動していたため、水路の取排水口が護岸の石積みに開口して残っていました。



導水路石積

取水口より、道路下のトンネルを抜けると、石積みはなくなり、杭や板で押さえをした、素掘りの溝に変わります。石積みは道路や護岸を作る際につけ足されたものです。素掘りの壁の土留めには、水車の心棒も転用されています。

放水路は水車小屋側の壁が石積みになっていました。これと対応する石積みが北側にもあり、土地の境界を示しています。



導水路壁転用材



放水路石積